

東陽中だより

教育目標 ～明日を拓く～
・豊かな心 ・活きた知性 ・たくましい体
発行責任者 小野寺 憲治
文 責 佐々木 正道
発行日 平成28年8月31日

二学期 始業式講話より

校長 小野寺 憲治

今年の夏は、大変蒸し暑い猛暑日が続きましたが、25日間の夏休みが終わりました。皆さんの休みはどうでしたか。事前の計画と規則正しい生活リズムの定着が図られたでしょうか。そのままにせず、反省からスタートが始まります。反省を今日からの2学期に生かしましょう。そこからみなさんの次の成長につながります。

この後、全道陸上大会、全道バドミントン大会、NHK全国学校音楽コンクールの報告会がありますが、陸上大会に出場した真鍋君、バドミントン大会に出場した佐々木君、佐々木さん、Nコンに出場した合唱部のみなさんは、それぞれに自分の力を出し切り頑張りました。合唱部は、合宿を行いコンクールに臨みましたが、結果は銀賞でした。金賞受賞校よりも多くの拍手をいただいたと聞いております。また、全道ソフトテニス大会当番校として男女ソフトテニス部員が補助役員を務め、大活躍しました。多くの大会関係者からお褒めの言葉をいただいております。美術部は、学校祭ポスターや各種コンクール・展示会の作品作りに頑張りました。3年生から引き継いだ部活動では、卓球部がカデット大会で男女それぞれ2名が9月に小樽市で行われる全道大会への出場権を勝ち取りました。その他の部活動も大会や練習試合に参加しております。その他の部についても、それぞれに成果を上げつつあります。勝っても負けても、また一つ、自分自身の大きな成長につながったことと思います。3年生や生徒会本部役員も学校祭に向けた準備を進めていました。

この夏はオリンピック一色の夏休みでした。みなさんが興味を引く競技はありましたか。北海道からは12名の選手が出場しています。中でも女子バスケットボールの釧路出身本川選手の活躍が素晴らしく感じました。旭川出身の町田瑠唯選手もアメリカ戦で素晴らしいシュートを決めました。全体を通しては、男子体操や男女柔道、水泳、卓球、バドミントン、レスリングの活躍に目覚ましいものがありました。

～中略～

2学期は、充実期と言われますが、皆さんに期待することを話します。

「苦手なことなども含め、いろいろなことに挑戦し、自分自身の成長を実感できる！」学期にするよう、一人一人がしっかり考え、学級や学年内でも話し合い、互いに高められるよう努力しましょう。

そして、2学期終業式には「あんなこと…や、こんなこと…を行い頑張った結果、成長できた！」と実感できる学期になることを期待します。

「夏休みの思い出
と2学期の抱負」
「全道大会報告会」
「伝達表彰」



＜1年：佐藤琉生くん＞



＜2年：山西隼斗くん＞



＜3年：柳川翔伍くん＞



＜陸上：真鍋隼也くん＞



＜羽球：佐々木優吏くん＞



＜羽球：佐々木ゆなさん＞



＜合唱部＞



＜男子卓球部＞



＜女子卓球部＞